

名前

高見 陽子 (たかみ ようこ)

所属

英語科

職名

准教授

出身大学

駒澤大学文学部英米文学科

出身大学院 (最終学歴)

英国 University of Leicester 大学院

取得学位

M.Phil. (University of Leicester、2002年7月)

M.A. (University of Nottingham、1995年12月)

文学修士 (駒澤大学大学院、1992年3月)

専門分野

19世紀イギリス小説および児童文学

担当科目 (2011年度)

英語英文学セミナー / 、地域・文化研究 C/D、Reading M、特別講義 B、
TOEIC 対策演習 / 、基礎セミナー、Basic Reading、英語圏文化研究 A/B

所属学会、委員会

British Association for Victorian Studies、日本ヴィクトリア朝文化研究学会、
日本英文学会、日本オースティン協会、日本イギリス児童文学会

研究情報

研究課題

19世紀イギリス女性作家と児童文学

研究業績

論文

「*Wuthering Heights*における『空間』の構造」

駒澤大学大学院英文学研究会『試論』第18号、1990年。

「*Wuthering Heights*における空間認識 「内」と「外」の機能」

駒澤大学大学院英文学研究会『試論』第19号、1991年。

「Mary Louisa Molesworth and Victorian Children's Fiction (1)

駒澤大学『外国語部論集』第60号、2004年。

「『女性性』を考える 英国ヴィクトリア朝の女性作家の視点から」

『日本ジェンダー研究』第7号、2004年。

「メアリ・ルイーザ・モルズワースの作品における女性とその役割についての一考察」

『立教女学院短期大学紀要』第37号、2005年。

「メアリ・ルイーザ・モルズワースの作品にみる心理表象」

『立教女学院短期大学紀要』第39号、2007年。

学会発表

「『女性性』を考える Victorian Britain を生きた女性作家の視点から」

日本ジェンダー学会第7回全国大会、2003年9月。

講演

「ヴィクトリア朝イングランドの女性たち」立教女学院短期大学公開講座、2009年2月。

「ヴィクトリア朝イングランドの子どもと文学」立教女学院短期大学公開講座、2011年2月。

学位論文

修士論文：An Approach to *Wuthering Heights* In Research of Space (駒澤大学、1992年)

M.A.論文：Emily Brontë: *Wuthering Heights* The Sense of Universality (University of Nottingham, 1995年)

M.Phil.論文：Reality and Intimacy: Mary Louisa Molesworth's Stories for Children (University of Leicester, 2002年)

科研費等獲得実績：なし

社会的活動

社団法人東京都私立短期大学協会 英語スピーチコンテスト小委員会委員 2005年9月
～現在に至る

社団法人東京都私立短期大学協会 GPA制度導入推進事業専門委員会委員 2009年4月～
2010年3月

東京家政学院中学校 職業別体験「将来に生きる英語力とは？」講師 2010年11月。